

クラウンブリッジ補綴科の研修プログラム

1. 取得できる認定医・専門医等とそれらを取得するための資格(概要)

1)日本補綴歯科学会専門医

- 1) 日本国 歯科医師免許を有すること
- 2) 5年以上継続している会員歴〔申請締切日(毎年8月末と3月末)までに〕
- 3) 認定研修機関で5年以上の診療および研究に従事
- 4) 多肢選択式筆記試験に合格していること
- 5) 認定研修内容の完備(70単位以上)

2)公益社団法人日本口腔インプラント学会認定JSOI専修医

- 1) 学会の正会員歴2年以上
- 2) 岡山大学病院に通算して2年以上在籍していること
- 3) 本会学術大会及び支部学術大会に、4回以上参加していること
- 4) 上部構造体装着後2年以上経過した5症例を提出できること
- 5) 口腔インプラント指導医2名(内1名は研修施設長)の推薦が得られること
- 6) ケースプレゼンテーション試験に合格していること(上部構造体装着後3年以上経過した症例の発表が必要)

3)公益社団法人日本口腔インプラント学会専門医

- 1) 学会の正会員歴5年以上
- 2) 岡山大学病院に通算して5年以上在籍していること
- 3) 本会専門医教育講座を3回以上受講していること
- 4) 本会学術大会及び支部学術大会に8回以上参加していること
- 5) 本会専門医制度施行細則に定める所定の研修を終了していること(口腔インプラント学会での発表2回以上、論文1編以上)
- 6) 口腔インプラント指導医 2 名(内1名は研修施設長)の推薦が得られること
- 7) 上部構造体装着後3年以上経過した20症例を提出できること(7歯以上の欠損症例を3症例以上、うち1症例はボーンアンカー・ドデンチャー含む)
- 8) ケースプレゼンテーション試験に合格していること
- 9) 資格認定後、専門医試験に合格すること

4)日本顎関節学会専門医

- 1) 日本国の歯科医師または医師免許証を有する者
- 2) 歯科医師または医師免許登録後、5年以上継続して本学会の正会員である者
- 3) 歯科医師または医師の臨床研修修了登録証取得後、研修機関において、本学会の定める研修カリキュラムに従い、通算5年以上の研修を修了した者、あるいは、それに準ずる者
- 4) 別に定める所定の実績(研修実績、診療実績および論文業績、等)を修めた者
- 5) 試験委員会が行う試験に合格した者

5)日本口腔顔面痛学会認定医

- 1) 日本国 歯科医師または医師の免許を有すること
- 2) 入会後、2回以上の学術大会参加をしていること
- 3) 本会専門医制度等施行細則に定めた基準に従い、所定の研修をしていること
- 4) 30例の口腔顔面痛症例の一覧を提出すること。症例は非菌原性、菌原性どちらでもよいが、非菌原性・菌原性の鑑別の根拠の記載があること
- 5) 筆記試験に合格すること

6)日本口腔顔面痛学会専門医

- 1) 日本国歯科医師または医師の免許を有すること
- 2) 申請時に 5 年以上継続して正会員あるいは準会員であること
- 3) 申請時に口腔顔面痛認定医であること
- 4) 研修機関で通算して週3日以上 5 年以上臨床研修をしていること
- 5) 本会専門医制度等施行細則に定めた基準に従い、口腔顔面痛の各分野について、まんべんなく研修していること
- 6) 口腔顔面痛専門医試験に合格していること

7)日本口腔リハビリテーション学会認定医

- 1) 日本国歯科医師の免許証を有すること
- 2) 通算5年以上の臨床経験を有するもの、及びこれと同等以上の経歴を有すること
- 3) 申請時において、5年以上の会員歴を有すること
- 4) 口腔リハビリテーションおよび顎頭蓋機能に関連する研究報告を学会学術大会で発表または口腔リハビリテーション学会雑誌に発表していること

8)日本老年歯科医学会認定医

- 1) 日本国歯科医師の免許を有する者
- 2) 認定医申請時において、継続して3年以上本会正会員である者
- 3) 研修施設において、指導医のもとで、3年以上高齢者に必要とされる歯科医療に従事すること
- 4) 本会が主催する学術大会及び研修会に出席すること
- 5) 認定医審査ポスタープレゼンテーションを行うこと
- 6) 高齢者に必要とされる歯科医療に関連する臨床経験等の実績を報告すること
- 7) 認定医審査ポスタープレゼンテーションについての、口頭試問及び記述試験に合格したもの

9)日本老年歯科医学会専門医

- 1) 日本国歯科医師の免許を有する者
- 2) 歯科医師免許登録後、専門医申請時において、継続して5年以上本会正会員である者
- 3) 本会の認定医として、通算2年以上にわたり高齢者に必要とされる歯科医療に関連する診療に従事している者
- 4) 歯科医師の臨床研修修了登録証取得後、専門医研修機関において、本会の定める研修カリキュラムに従い、通算5年以上の研修を修了した者
- 5) 申請前の5年間に、別に定める所定の実績（研修実績、診療実績及び論文業績、等）を修めた者
- 6) 試験実施委員会が行う試験に合格した者

10)日本接着歯学会専門医

- 1) 日本国歯科医師免許を有すること
- 2) 5年以上継続している会員歴
- 3) 学会が主催する学術大会・臨床セミナー・シンポジウム・認定医研鑽会への出席(5年で3回以上)
- 4) 筆頭演者1回を含む、2回以上の学会発表
- 5) 筆頭著者1編を含む、2編以上の論文発表
- 6) 接着歯学を活用した診査・診断及び治療症例のケースプレゼンテーション

11)日本歯科理工学会認定医(デンタルマテリアルアドバイザー)

- 1) 3年以上継続している会員歴
- 2) 内規に定める得点を有するもの

12)日本歯科理工学会認定医(デンタルマテリアル・シニアアドバイザー)

- 1) 5年以上継続している会員歴
- 2) 内規に定める得点を有する者
- 3) Dental Materials Adviserである者、大学・企業における研究歴を有する者、あるいは関連学会の認定医である者

13)日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士

- 1) 本学会会員歴が、受験年の7月31日において、2年以上であること
- 2) 摂食・嚥下に関わる臨床または研究歴が、受験年の7月31日において、通算3年以上であること
- 3) 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会インターネット学習プログラム(以下eラーニングという)全課程の受講を修了していること
- 4) 書類審査を行い、合格者に対して認定士試験を行う。

14)Infection Control Doctor

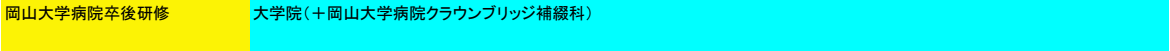
- 1) ICD認定制度加盟学会(日本歯科薬物療法学会、日本集中治療医学会、日本口腔感染症学会)の会員であること
- 2) 医師歴が5年以上の歯科医師
- 3) 感染対策委員またはそれに準ずる活動実績があり、所属施設長の推薦があること
- 4) ICD制度協議会の主催する講習会または厚生労働省の委託による院内感染対策講習会への参加実績が3回(45点)以上あること
- 5) 所属学会からの推薦があること

2. 認定医・専門医等取得のための基本的なプログラム(ロードマップ)

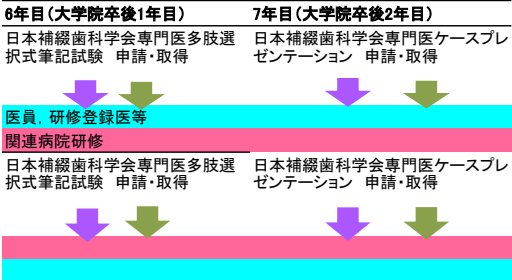
認定医・専門医等	コース名	大学との関連	1年目	2年目(大学院1年目)	3年目(大学院2年目)	4年目(大学院3年目)	5年目(大学院4年目)
----------	------	--------	-----	-------------	-------------	-------------	-------------

日本補綴歯科学会専門医

臨床専門医コース 大学院進学が必要



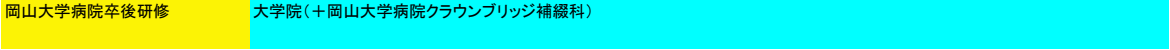
大学院以外のコース 研修登録が必要



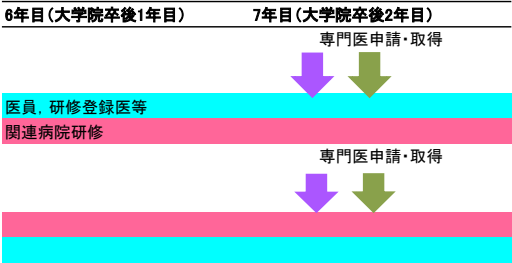
認定医・専門医等	コース名	大学との関連	1年目	2年目(大学院1年目)	3年目(大学院2年目)	4年目(大学院3年目)	5年目(大学院4年目)
----------	------	--------	-----	-------------	-------------	-------------	-------------

日本口腔インプラント学会認定JSOI認証
医・専門医

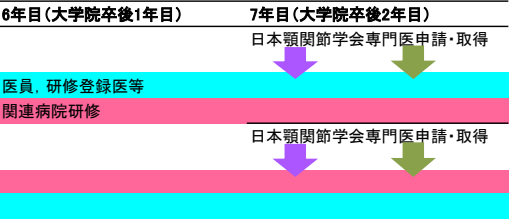
臨床専門医コース 大学院進学が必要



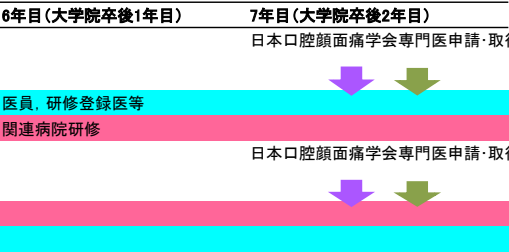
大学院以外のコース インプラント講習会
参加登録が必要



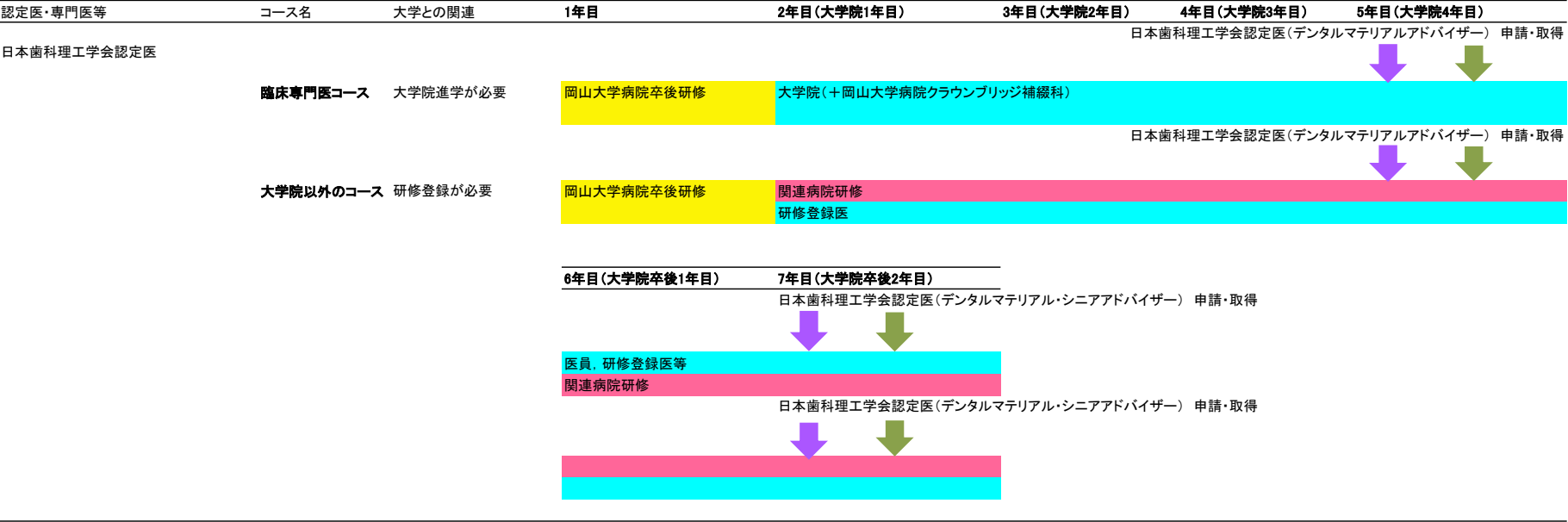
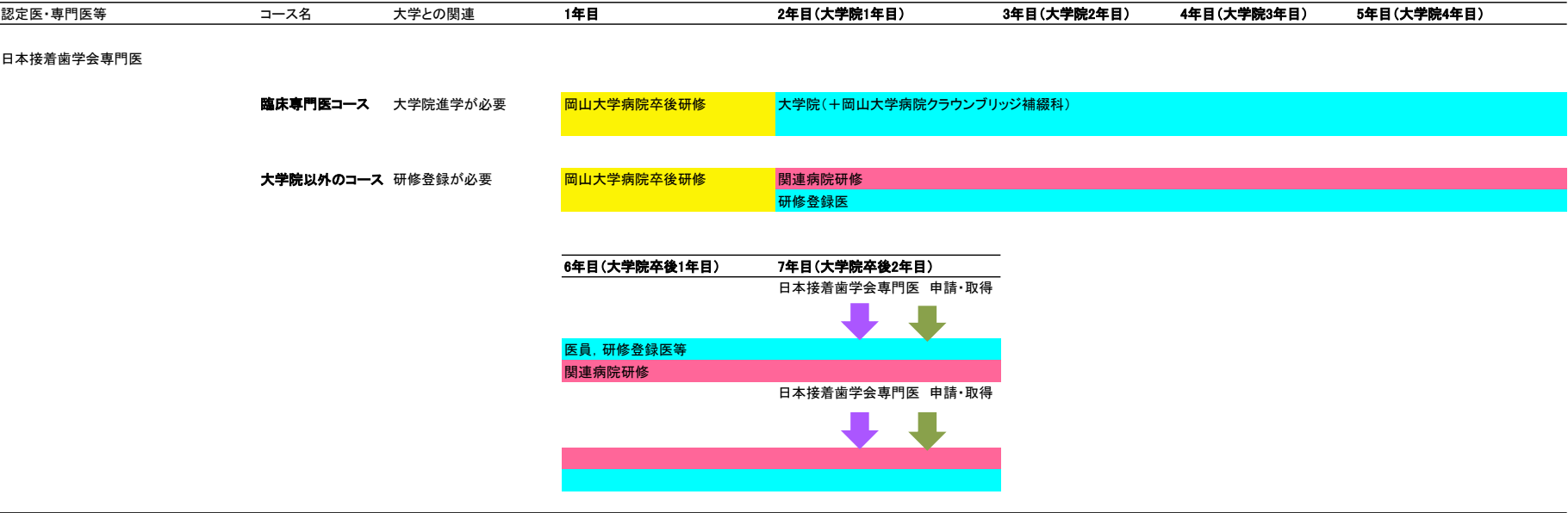
認定医・専門医等	コース名	大学との関連	1年目	2年目(大学院1年目)	3年目(大学院2年目)	4年目(大学院3年目)	5年目(大学院4年目)
日本顎関節学会専門医	臨床専門医コース	大学院進学が必要	岡山大学病院卒後研修	大学院(+岡山大学病院クラウンブリッジ補綴科)			
	大学院以外のコース	研修登録が必要	岡山大学病院卒後研修	関連病院研修 研修登録医			



認定医・専門医等	コース名	大学との関連	1年目	2年目(大学院1年目)	3年目(大学院2年目)	4年目(大学院3年目)	5年目(大学院4年目)
日本口腔顎顔面痛学会認定医・専門医	臨床専門医コース	大学院進学が必要	岡山大学病院卒後研修	大学院(+岡山大学病院クラウンブリッジ補綴科)			
	大学院以外のコース	研修登録が必要	岡山大学病院卒後研修	関連病院研修 研修登録医			







認定医・専門医等	コース名	大学との関連	1年目	2年目(大学院1年目)	3年目(大学院2年目)	4年目(大学院3年目)	5年目(大学院4年目)
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士							認定士申請・試験・取得 ↓ ↓
	臨床専門医コース	大学院進学が必要	岡山大学病院卒後研修	大学院(+岡山大学病院クラウンブリッジ補綴科)			
							認定士申請・試験・取得 ↓ ↓
	大学院以外のコース	研修施設への所属が必要	岡山大学病院卒後研修	関連病院研修 研修登録医			